平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月９日

上場会社名　　株式会社やまびこ　　上場取引所　東
コード番号　　6250　　ＵＲＬ　http://www.yamabiko-corp.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長執行役員　　（氏名）永尾　慶昭
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）瀬古　達夫　　ＴＥＬ　0428-32-6111

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月９日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	25,212	3.0	1,496	69.2	1,869	181.9	1,499	442.1
25年３月期第１四半期	24,487	5.6	884	△48.9	663	△61.0	276	△78.7

（注）包括利益　　26年３月期第１四半期　　2,419百万円（297.1%）　　25年３月期第１四半期　　609百万円（△59.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	145.53	－
25年３月期第１四半期	27.31	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	85,793	31,312	36.3	3,023.09
25年３月期	79,163	29,513	37.1	2,849.89

（参考）自己資本　　26年３月期第１四半期　　31,151百万円　　25年３月期　　29,369百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	－	－	60.00	60.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		－	－	75.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　有

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	53,000	9.4	3,300	92.2	3,600	169.6	2,700	361.1	262.01
通期	100,000	12.3	4,500	103.4	4,600	55.6	3,300	36.2	320.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　ー社　（社名）　　、除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	11,027,107株	25年３月期	11,027,107株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	722,442株	25年３月期	721,719株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	10,304,893株	25年３月期１Ｑ	10,131,059株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外でありますが、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となることがあります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における世界経済は、米国は景気回復に確かさが見えたものの、欧州は改善の兆しが見られず、新興国は総じて停滞局面となり不透明な状況で推移しました。国内は、政府の経済政策を背景として景況感が改善しているものの、株式市場や金利が激しく変動するなど不安定な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内農業機械市場は政府の補正予算増額などによりトラクタやコンバインは伸長しましたが、当社主力製品の防除機や刈払機は前年並みとなりました。国内建設機械市場は復興需要に加え、第４次排出ガス規制適用を睨んだ需要が旺盛で全体的には好調に推移しましたが、需要の中心が大型の車両・重機に集中したため、発電機などの小型機械は低調でした。

海外小型屋外作業機械市場は、最大市場の北米が春先の天候不順により需要が落ち込み、欧州は長引く景気低迷の影響により不調でした。

また、為替相場は、対ドル・対ユーロとも引き続き円高是正が進みました。

このような環境の下、当社グループは「中期経営計画２０１４」の最終年度を迎え、継続的な新製品の投入および販促キャンペーンの実施などによるシェア拡大の推進や、エンジン主要部品の海外調達促進を中心とした原価低減策の継続をはじめ、市場競争力強化に向けた国内サービス網の再構築にも着手するなど、引き続き各重点施策に着実に取り組むとともに、次期以降の更なる業績向上に向けた諸準備も進めました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第１四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

［売上高］

当第１四半期連結累計期間の売上高は、252億12百万円（対前年同四半期比3.0％増）となりました。その内訳は、国内売上高が112億14百万円（同5.2％減）、米州の売上高は112億69百万円（同11.4％増）、米州以外の海外売上高は27億28百万円（同7.5％増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①　小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、186億71百万円（同6.7％増）となりました。

・小型屋外作業機械

国内は、主力の刈払機は堅調に推移したものの、前年までの復興需要の反動や林内作業における高性能機械化の進行の影響などでチェンソーが減少しました。

海外は、北米市場が低温と長雨により主力の刈払機が低調だったほか、中南米も政治・経済の影響から振るいませんでした。加えて引き続き欧州が低迷したことなどにより販売数量は減少したものの、大幅な円高是正の影響により増収となりました。

その結果、売上高は133億51百万円（同8.8％増）となりました。

・農業用管理機械

国内は、省力化・効率化の面から需要が継続している畦草刈機や高所作業機が好調を維持しましたが、低温・長雨による影響で稲の育成、果樹の作柄不安が広がったことなどで、昨年大きく伸長したスピードスプレーヤなどの大型防除機が減少しました。

海外は、穀物価格の高止まりを背景に収穫機を中心に好調な販売が続き、加えて大幅な円高是正により売上高は伸長しました。

その結果、売上高は53億19百万円（同1.9％増）となりました。

②　一般産業用機械

これまで好調に推移してきた発電機が官公庁ルートでの調達案件の減少や、建機レンタルルートでの資産購入が第４次排出ガス規制実施に向けて大型の車両・重機を優先したことなどで動きが鈍化しました。

その結果、売上高は21億81百万円（同22.3％減）となりました。

③　その他（アクセサリー、アフターサービス用部品、他）

国内は拡販施策などの実施により伸長しました。海外の販売は減少したものの、大幅な円高是正の影響により増収となりました。その結果、売上高は43億59百万円（同4.0％増）となりました。

［損　益］

国内外で販売数量は減少したものの主に大幅な円高是正に伴う輸出採算の改善により、営業利益は14億96百万円（同69.2％増）となりました。

経常利益は営業外収益で為替差益が増加したことなどにより、18億69百万円（同181.9％増）、四半期純利益は繰延税金資産の計上などで14億99百万円（同442.1％増）となり、いずれも前年同四半期に比べて大幅な増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて66億29百万円増加し857億93百万円となりました。

その主な要因は、季節的要因による受取手形及び売掛金の増加44億34百万円、原材料及び貯蔵品の増加７億66百万円、現金及び預金の増加５億36百万円等によるものです。

②　負債

当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて48億30百万円増加し544億80百万円となりました。

その主な要因は、借入金の増加39億71百万円、賞与引当金の増加９億10百万円等によるものです。

③　純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて17億99百万円増加し313億12百万円となりました。

これは、利益剰余金の増加８億81百万円、為替換算調整勘定の増加８億71百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少し、36.3％となりました。

④　キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の収支は、営業活動によるキャッシュ・フローが15億72百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローが８億６百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが28億96百万円の収入となりました。その結果、当第１四半期連結会計期間末の資金残高は54億43百万円となりました。当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益18億48百万円、賞与引当金の増加額９億10百万円、売上債権の増加38億45百万円、仕入債務の減少11億53百万円等により、15億72百万円の支出（前年同四半期は29億18百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得７億76百万円、有形固定資産の売却３百万円等により、８億６百万円の支出（前年同四半期は５億88百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払６億18百万円、長期借入金の返済７億59百万円、短期借入金の純増加35億４百万円、長期借入れによる収入７億89百万円等により、28億96百万円の収入（前年同四半期は44億97百万円の収入）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第１四半期連結累計期間の業績の動向などを踏まえ、平成25年５月10日の決算発表時に公表した平成26年３月期第２四半期（累計）および通期の連結業績予想並びに期末配当予想を修正しております。

詳細については、本日（平成25年８月９日）公表しました「業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,907	5,443
受取手形及び売掛金	14,853	19,288
商品及び製品	25,356	25,602
仕掛品	1,250	1,177
原材料及び貯蔵品	6,212	6,979
その他	2,504	2,656
貸倒引当金	△157	△161
流動資産合計	54,927	60,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,258	7,267
土地	8,137	8,166
その他（純額）	5,704	5,827
有形固定資産合計	21,100	21,261
無形固定資産	757	1,061
投資その他の資産		
その他	2,877	2,979
貸倒引当金	△498	△494
投資その他の資産合計	2,378	2,485
固定資産合計	24,235	24,807
資産合計	79,163	85,793
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,810	14,250
短期借入金	20,320	24,168
1年内返済予定の長期借入金	2,374	1,822
未払法人税等	459	694
賞与引当金	142	1,053
製品保証引当金	826	745
その他	4,871	5,221
流動負債合計	43,805	47,955
固定負債		
長期借入金	2,724	3,399
退職給付引当金	858	707
環境対策引当金	39	39
製品保証引当金	73	146
その他	2,147	2,232
固定負債合計	5,844	6,524
負債合計	49,649	54,480

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,547	9,548
利益剰余金	15,974	16,856
自己株式	△738	△741
株主資本合計	30,784	31,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477	509
為替換算調整勘定	△1,891	△1,020
その他の包括利益累計額合計	△1,414	△510
少数株主持分	144	160
純資産合計	29,513	31,312
負債純資産合計	79,163	85,793

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	24,487	25,212
売上原価	18,363	18,155
売上総利益	6,123	7,057
販売費及び一般管理費	5,239	5,560
営業利益	884	1,496
営業外収益		
受取利息	9	1
受取配当金	37	20
為替差益	―	350
その他	83	69
営業外収益合計	129	441
営業外費用		
支払利息	90	63
為替差損	251	―
その他	8	4
営業外費用合計	351	68
経常利益	663	1,869
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	26	21
特別損失合計	26	21
税金等調整前四半期純利益	639	1,848
法人税、住民税及び事業税	419	628
法人税等調整額	△61	△284
法人税等合計	358	344
少数株主損益調整前四半期純利益	281	1,503
少数株主利益	4	4
四半期純利益	276	1,499

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	281	1,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166	32
繰延ヘッジ損益	2	－
為替換算調整勘定	492	883
その他の包括利益合計	328	916
四半期包括利益	609	2,419
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	597	2,403
少数株主に係る四半期包括利益	11	16

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	639	1,848
減価償却費	607	619
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△52	△151
貸倒引当金の増減額（△は減少）	11	△12
受取利息及び受取配当金	△46	△22
支払利息	90	63
賞与引当金の増減額（△は減少）	753	910
売上債権の増減額（△は増加）	△5,196	△3,845
たな卸資産の増減額（△は増加）	574	363
仕入債務の増減額（△は減少）	△621	△1,153
未収消費税等の増減額（△は増加）	708	561
その他	△124	△324
小計	△2,655	△1,141
利息及び配当金の受取額	46	22
利息の支払額	△86	△61
法人税等の支払額	△223	△391
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,918	△1,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△528	△776
有形及び無形固定資産の売却による収入	4	3
その他	△65	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588	△806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	4,957	3,504
長期借入れによる収入	140	789
長期借入金の返済による支出	△96	△759
配当金の支払額	△486	△618
その他	△17	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,497	2,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	18
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	978	536
現金及び現金同等物の期首残高	4,056	4,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,035	5,443

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小型屋外作業・農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への売上高	17,491	2,805	20,296	4,190	―	24,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,655	2,082	14,738	1,360	△16,099	―
計	30,146	4,888	35,035	5,551	△16,099	24,487
セグメント利益	254	162	417	1,525	△1,057	884

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,057百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致させております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小型屋外作業・農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への売上高	18,671	2,181	20,852	4,359	―	25,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,783	1,570	15,353	1,555	△16,908	―
計	32,454	3,751	36,206	5,914	△16,908	25,212
セグメント利益	1,002	24	1,027	1,566	△1,097	1,496

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,097百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致させております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。